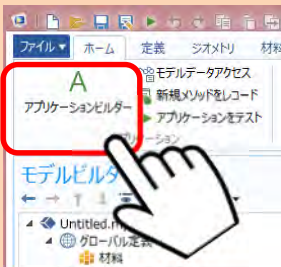


# Application Builder / COMSOL Server

## アプリケーションモデルを作ってみよう！



Windows版 COMSOL Multiphysics のモデルビルダーで作成した解析モデルをアプリケーションモデルに作り替えるには、リボンメニューの「アプリケーションビルダー」をクリックするだけで、Application Builder のデスクトップに切り換わります。ご自分の目的にあったアプリケーションモデルを創造してみてください。

※ Application Builder/COMSOL Server についての詳細は、弊社ホームページをご覧ください。

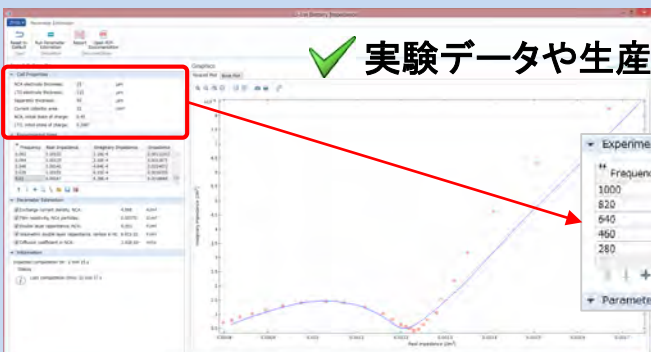
<http://www.kesco.co.jp/comsol/comsolserver.html>

**無料の Application Builder ハンズオンセミナーも開催中！**

これに参加しさえすれば、あとは自力で作成できるようになります。是非、お申し込みを！

## アプリケーションモデルの利用メリット

※ お客様からの声を参考にした利用メリットです。



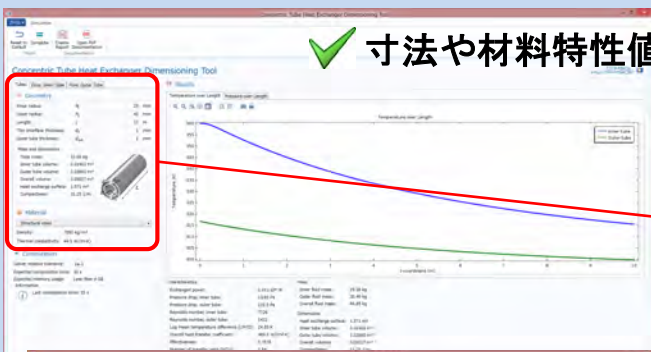
✓ **実験データや生産ラインでの検査データを現場でインポート**  
(解析結果との突合せ評価)

モデル解析と実験を繰り返し行う開発では、実験現場でアプリケーションモデルに実験結果データを入力し、解析結果の突合せをグラフなどで表示させて確認しながら進めることができます。また、生産ラインの検査結果データを入力し、解析結果による出荷判定に利用することも可能です。この場合、実験や検査の担当者が COMSOL を習得している必要は全くありません。



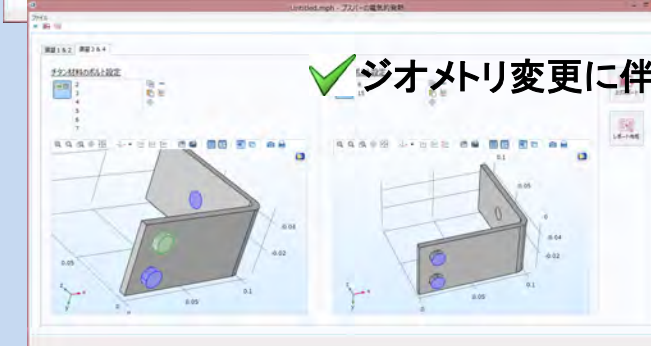
✓ **定量的なデータ以外に資料、写真、動画などを現場でインポート**  
(定性的な情報対応)

アプリケーションモデルには、資料、画像、動画などをインポートして埋め込むことができます。これによって、例えば、実験結果をデータだけでなく写真や動画としてインポートさせることが可能です。あるいは、生産現場で利用する場合の指示明確化なども考えられます。さらには、顧客への説明やワーキングなどでの発表の際に威力を発揮します。



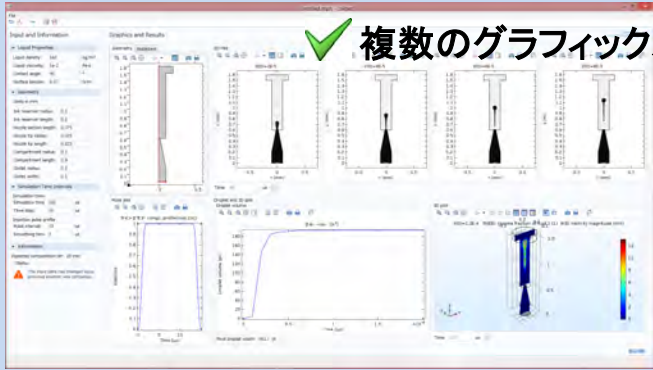
✓ **寸法や材料特性値などを現場で入力変更**  
(生産品の歩留まり対応など)

例えば、生産現場などで部材の加工寸法、あるいは材料変更による特性値変更といったような場合に、そのデータを入力して再計算することによって判定することが可能です。CADデータをインポートするといったことも可能です。このような歩留まり対応などへの利用が考えられます。



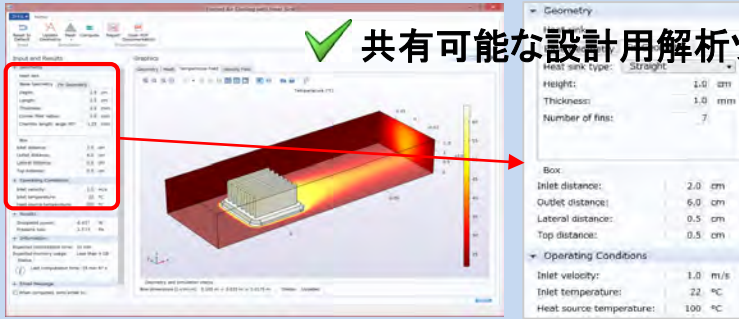
✓ **ジオメトリ変更に伴う境界条件までも現場で設定変更**  
(複雑な形状変更を要する場合)

寸法だけでなく形状をCADインポートによって変更するような場合、境界条件までも変更しなければならないことが考えられます。そのようなオブジェクトも用意されており、簡単に実現できます。



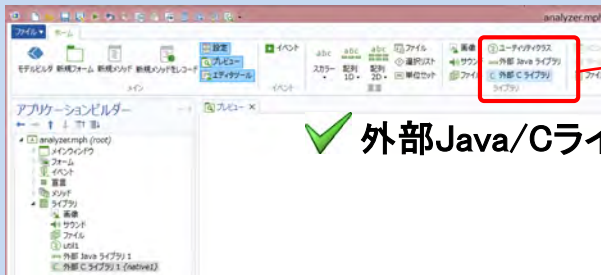
✓ 複数のグラフィックスなどの解析結果を一括表示して一望

通常、一つの解析結果は複数のグラフィックス表示が存在します。これを一括で確認できるようになると便利です。条件毎の解析結果やアニメーション、さらにはジオメトリやメッシュなどを同時に表示させることも役立ちます。



✓ 共有可能な設計用解析ツール、教育ツールとしての利用  
(解析の標準化利用)

例えば、製品の試作実験を実施する前に見通しを立てて設計を進めるために解析を行うような場合があります。そのような解析は、毎回利用できるような標準化可能なものが考えられます。一つ的设计ツールとして、そのようなアプリケーションモデルをラインナップしておけば、電卓のように誰でも利用できます。



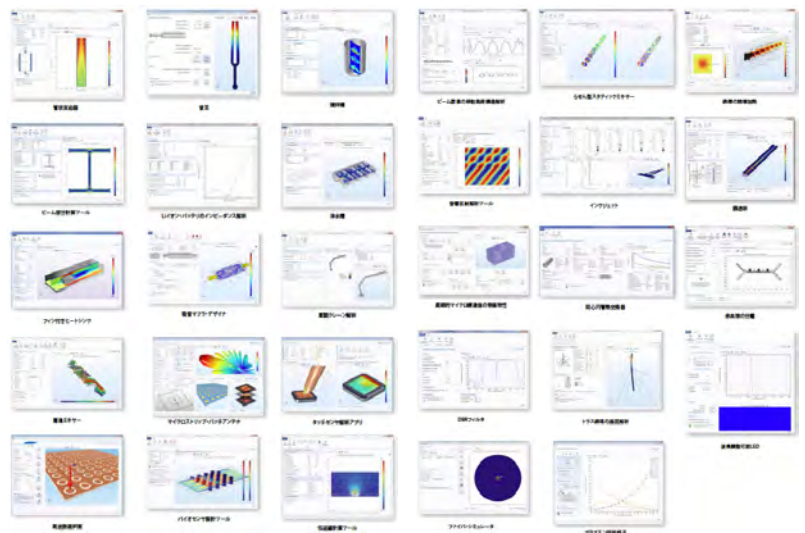
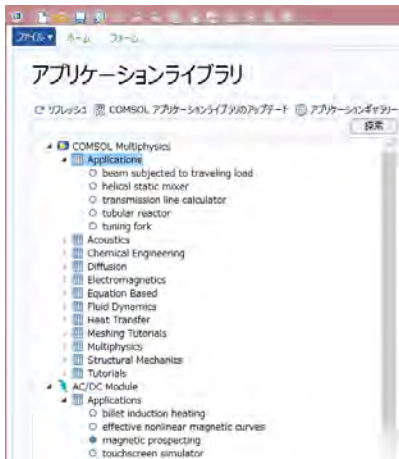
- ⑤ ユーティリティクラス
- Java 外部 Java ライブラリ
- C 外部 C ライブラリ
- ライブラリ

✓ 外部Java/Cライブラリの取り込みによるレガシーコードの再利用

Javaによるマクロ作成において、そのメソッドに外部JavaライブラリやCライブラリを取り込むことが可能です。

① アプリケーションライブラリにあるアプリケーションモデルの利用

アプリケーションライブラリでは、Application Builder の機能を紹介するアプリケーションのサンプルを見つけることができます。それらは、Applications という名前のフォルダに集められており、多くのアドオン製品に利用することができます。これらを編集し、独自のアプリケーションを設計する場合の出発点、あるいはアイデアの創造に利用することができます。アプリケーションライブラリツールで利用可能なアプリケーションモデル例のリストや概要説明については、Introduction to Application Builder (日本語訳版もあります) の「付録 G-アプリケーションライブラリ例」の章を参照してください。



**KESCO KEISOKU ENGINEERING SYSTEM**  
計測エンジニアリングシステム株式会社

〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-9-5 井門内神田ビル6F  
TEL: 03-5282-7040 FAX: 03-5282-0808  
担当: システム部 山口徹、古川雅英  
<http://www.kesco.co.jp/>

詳細お問い合わせは、弊社または特約店へご連絡ください。